

自由テーマ

西南郷地区がかかえる諸課題について

テーマ選定理由

西南郷地区は、掛川市街地の南にあり、これまで里山に囲まれた自然豊かな農村地域であったが、昭和63年完工の大規模区画整理により様相を一変した。

新幹線掛川駅、東名高速道路に挟まれ、近年、市街地化が加速するとともに、ホテル・マンション等の建設、人口増等により、地域をとりまく環境が激変した。

一方、高齢・少子化等に伴う高齢世帯の増加や、個人の価値観の変化等によりコミュニティの維持、自治会活動にも課題を抱えている。西南郷地区が抱えるいくつかの課題について、意見交換するとともに、西南郷地区の将来について、掛川市が行政課題として、どのような方針・施策を考えているかをお伺いしたい。

具体的な提案等

① 西南郷地区のマスタープランについて

今年度の掛川市施政方針において「西南郷地区を対象に今後の土地利用活用案の策定を進める」としているが、掛川市として西南郷地区の課題をどのようにとらえたうえで、土地利用活用、まちづくりをすすめようと考えているかお聞きしたい。

また、今年度計画している土地利用活用案策定の進捗状況、及び、策定にあたり、地域への周知、住民の意見をどのように聞いていくかお伺いしたい。

② 災害時等における若者の地域支援について

高齢・少子化時代にあって、自治会役員はもとより、地域活動の担い手不足が加速している。特に、東南海地震や大雨・台風等の災害発生時の人命救助や災害復旧活動が必要な時、特に、昼間は地域に住む働き手は会社勤めのなか、在宅は高齢者ばかりという事態が想定される。

そこで、昼間、地元中・高校に在学する学生・生徒の力を活用できないか。

例えば、各区や学校の指導監督下において、そうした若者を高齢者安否確認や簡単なケア、災害ごみ搬出などの災害復旧活動にあたらせることができないか。

事前に自治体と学校サイドで災害支援協定を締結しておき、災害時の復旧活動に従事できるような体制の構築、各地区区長の指揮下において活動従事できるシステムの構築ができないか伺いたい。

③ 農業用ため池の管理について

西南郷地区では、10カ所の農業用ため池について、各区が管理責任者を設置し、大雨時の状況把握、堤体の草刈り等の管理を行っている。

しかし、従前、ため池は貴重な農業用水であったが、西南郷地区では、近年、農業世帯が激減、ため池用水を利用する農業世帯はわずかとなっている。

市農業用ため池管理規則では、「受益者は管理責任者を選定する。受益者とは、受益地を所有し、または、業として耕作する者」と規定しているが、受益者がいない「ため池」、さらに、所有者も明確でない「ため池」もある。また、住民の高齢化などにより草刈り等の負担に耐えられない状況にもなりつつある。

そこで、管理責任者を選任しないことは可能かどうか。また、事故や災害時等に管理責任者が負う責任の範囲はどこまでかお伺いしたい。

また、掛川市内のため池について、その利用状況や、管理が地域住民の負担になっていないかなど、利用・管理状況について調査したらどうか提案する。

特に市街地近郊のため池については、貴重な自然資産として活用する方策はないか。掛川市として、ため池を貴重な資源・資産として、今後、管理活用する方策を検討したらどうか提案する。

④ ゴミの収集について

掛川市は、ごみ排出量をもっとも少ない自治体として全国に誇っているが、各自治区・住民に負担が増大している状況にある。

例えば、ごみ集積所の設置や修理については、1/2補助・限度額10万円であり、自治区の持ち出しが多い。前年度9月頃に補助要望を出す必要があることから、緊急の小規模補修は自治区負担で実施している。そこで補助率・補助額の増加、また、緊急時の修繕については、予算枠の確保、予備費等で柔軟に対応できないか。

また、クリーン推進員の設置を進めているが、住民の高齢化や負担感から、「なりて」がない。さらに、手当についても各区で独自に負担している場合がある。

ゴミ出しマナーの徹底についても、特に居住実態のわからないマンション・アパート住民への徹底が難しい。

また、粗大ごみについても、資源ギャラリーへの自分での持ち込み、ごみの解体要求、搬入物の制限等、特に高齢者世帯への負担が重く、改善をお願いしたい。

⑤ 公園樹木や街路樹の適正な管理について

近年、公園の樹木が大きくなりすぎ、公園内施設や電線を覆ったり、道路の通行障害、さらには、隣接住宅への日照弊害が出てきている。また、虫食い等による空洞化、枯れ木化などもあり、台風時には倒木等の恐れもある。自治会における管理では、高いところの樹木伐採等には限界がある。秋から冬にかけては、大量の落葉により、近隣住民の清掃では対応できない場合もある。

また、公園だけでなく、地域の街路樹においても同様な問題が出てきている。

行政においては、公園管理・街路樹管理に多大な経費と手間をかけていることが推測されるが、今後急速に進む人口減少化社会において、公園樹木・街路樹の適正な整備、管理について、今一度検討することが必要と思われる。

具体的には、巨大化した樹木の伐採、低木で落葉しない樹木への変更、樹木以外の植物の植栽等を検討したらどうか。

